

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

仙台市立錦ヶ丘小学校（仙台市）

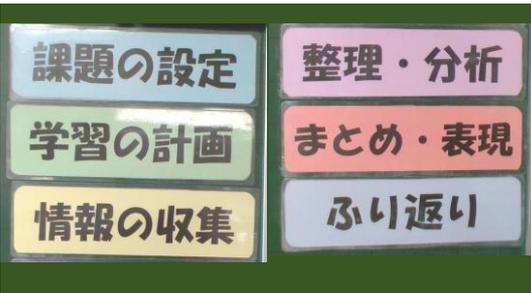
【取組内容①】 自律的な学びに向けた情報活用能力の育成

【概要】 仙台市が示す学習目標リストを基に自校版の「情報活用能力 学習目標リスト」作成し、系統的に情報活用能力を育成している。また、全学年共通の探究カード（課題設定・学習計画・情報の収集・整理・分析・まとめ表現・振り返り）を黒板等に掲示し、児童自身が探究的な学びのサイクルを意識しながら学び進めることができるようにした。

実践①「情報活用能力 学習目標リスト」と「探究カード」の活用

別記1	令和5年度	錦ヶ丘小学校	情報活用能力 学習目標リスト
活 動 ス キ ル	読 み 方 ・ 慣 え 方	趣 意	レベル1(小学校下学年) レベル2(小学校上級学年)
		A1: 記号と編集	・写真や動画の撮影 ・写真や動画の編集
		A2: PCの操作	・ローマ字で文字を入力する ・クラウド上にコンピュータを保存する
		A3: ウェブ検索	・キーワードで検索する ・サイトの信頼性を判断する
		A4: 図書館利用	・図書館内にある本を借りかえる ・目次や索引を確認する
		A5: インスタビュー	・質問を用意する ・下調べをし、質問を準備する
		A6: アンケート	・何を聞くか質問を考案する ・目的に沿った質問を準備する
		A7: SNS	・大まかなところを調べ、詳細を調べる ・写真や動画を共有する
		A8: 口頭発表	・話を聞きながら大きな声で分かるように話す ・資料や図表や動画の活用
		A9: 調べ学習	・課題解決に必要な情報を調べる ・一つの視点から調べたことを整理し、まとめる
【主に情報の収集・分析や表現の場面】	B1: 取捨選択	B2: 読み取り	・一つの視点から調べたことを整理し、まとめる

「情報活用能力 学習目標リスト」



探究カード

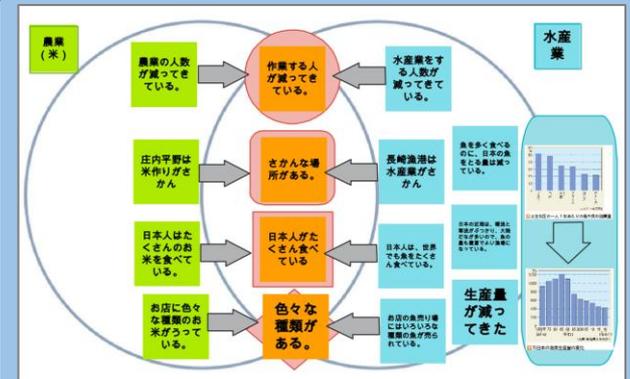
実践②「情報活用能力 学習目標リスト」を基にした実践の具体 —探究スキル「読み取り」の項目における実践—

■小学校下学年の目標 「一つの資料から視点を持って情報を読み取る」

一つ目の文しよう	二つ目の文しよう
長い	みじかい
しゃんがある	見出しがある
いつ(じき)	イラストがかかっている
おせわのしかた	ちゅういすること
サツマイモのようす	大きくそだてるためのコツ
	たくさんしゅうかくするためのポイント
どちらにもサツマイモのそだて方が書いてある	

2年国語「文しようのちがいをかんがえよう」
教材文の文章を与えられた視点で読み比べ、表に整理しながら、表現方法の違いを読み取る。

■小学校上学年の目標 「複数情報から共通・相違点を見付ける」



5年社会科「わたしたちの生活と食料生産」
日本の農業と水産業について分かったことをベン図上で比較しながら、日本の農産業の特色や課題を見いだす。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

仙台市立錦ヶ丘小学校（仙台市）

【取組内容②】 課題設定場面と個別視聴を通じた課題解決場面におけるNHK for Shcoolの活用

【概要】NHK for Schoolの番組を導入場面で視聴し、番組で得られた情報を根拠に予想を立てたり、課題解決に必要な情報を得るために、個別に動画クリップ等を選択して視聴し、自分の考えを整理したりすることを通して、多様な情報を活用して課題解決する方法について学ぶ。

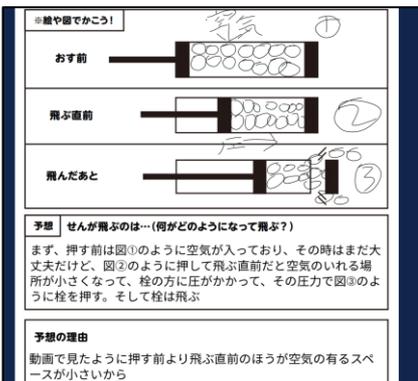
実践例① 「課題設定の共通体験として番組を視聴」



単元導入時、課題をつかませるために番組を一齐視聴させた。

その後、番組の情報を根拠に個人で予想を立て、全員の予想を共有しながらグループで話し合った。

番組の内容を共通の情報源として交流することで予想の妥当性を議論することができた。



4年理科で作成した予想カード



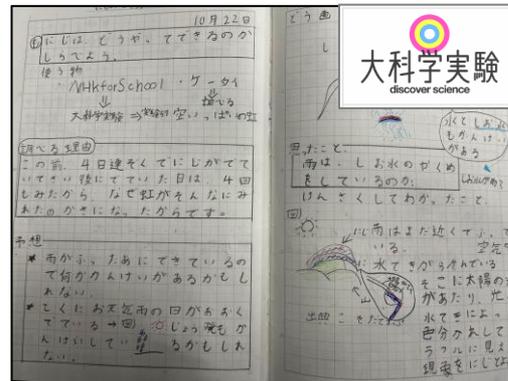
予想カードを共有し、共通点や相違点に目を向けさせる。

実践例② 「【確かめる】 【広げる】 個別視聴」



授業で視聴した動画はclassroom等でURLを共有し、児童自身が自由に見ることができるようにしている。

休み時間や家庭学習の際に視聴する児童もおり、児童自身で学びを確かめたり深めたりすることにつながっている。



番組を視聴して考えをまとめた児童の家庭学習ノート

視聴する番組や動画クリップに制限を持たせず、児童それぞれが興味関心等にに応じて視聴できるようにしている。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

仙台市立錦ヶ丘小学校（仙台市）

【取組内容②】 オンラインを活用した外部講師等の授業

【概要】人数や回数等の制限で、直接施設見学ができない時に、オンラインによる工場見学を実施した。3年社会科「工場の仕事」の単元の中で、工場の仕組みや働く人の工夫について調べる際に、全クラスをウェブ会議システムを使って工場とつなぎ、工場で働く人の工夫や努力について直接交流をしながら学ぶことができた。

実践例①「オンライン工場見学で働く人とつながる」



各クラスとヤクルト岩手工場をウェブ会議ソフトで結び、オンライン上で製造ラインの様子を映像から工場の仕組みを知ったり、講師からの講話や質疑応答のやり取りを通して、働く人の工夫や努力について考えたりすることができた。

実践例②「バーチャル工場見学で、工場の仕組みや工夫を知る」



様々なバーチャル工場見学のサイトを閲覧し、工場で働く人の工夫や努力、工場の仕組みについて、共通することを探すことを通して、生産の仕事は、人々の生活と関わりを持って行われていることを理解することができた。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

仙台市立錦ヶ丘小学校（仙台市）

【取組内容③】 端末の持ち帰りによる授業と家庭学習の連動

【概要】主に5・6年生の社会科や総合的な学習の時間において、情報収集の時間を家庭学習として取り入れることで、授業中の議論に時間をかけることができるようになった。家庭学習を踏まえた授業デザインを通して、個別最適な学びと協働的な学びの充実を目指す。

実践例①「家庭学習を取り入れた授業デザインの工夫」

授業デザイン（これからの工業）		改善した単元構成
従前の単元構成		朝学習 前単元の振り返りを基に、学び方のルーブリックを作成する。
1 伝統を生かした工業や中小工場の技術に着目して、問いを見出す。	家庭学習 3日間	1 学習問題と個人の追究課題を設定する。 情報端末を持ち帰り、個人の追究課題について家庭学習で調べ、調べノート（シャムボード）にまとめておく。
2 伝統的な工業について調べる。		2 テーマが似ている人たちがグループとなり、情報を整理・分析する。整理・分析した内容を協働編集でスライドにまとめる。必要なときには調べ直す。現時点での学び方を振り返る。
3 大田区の工場（中小工場）について調べる。		3
4 工業生産の課題や、課題に対する取り組みについて調べる。		4 スライドを使って全体でプレゼンする。聞き手はチャットで感想や疑問を交流する。
5 これからの工業生産に大切だと思うことを話し合う。		5 プレゼンを受けて疑問に感じた内容について調べ、チャット上で交流する。（家庭） 5 これからの自動車工業について考え、議論する。

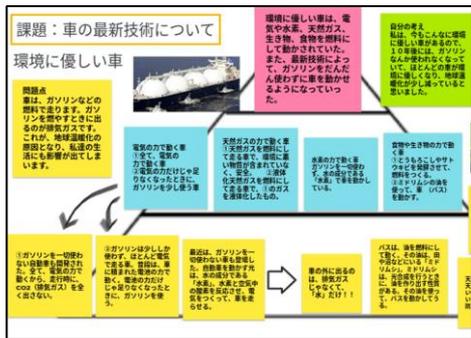
授業デザインの際、情報収集を家庭で行うことを取り入れえることで、授業を整理・分析・表現等の協働的な学びの時間の充実を図ることができた。

実践例②「協働的な学びの時間の充実」



家庭学習で収集した情報をグループ内で共有し、共同編集しながら情報を整理・分析している。

十分な時間が確保されているため、議論を通して、不足した情報や、真偽の分からない情報について調べ直しをしながら、課題解決に向かうことができた。

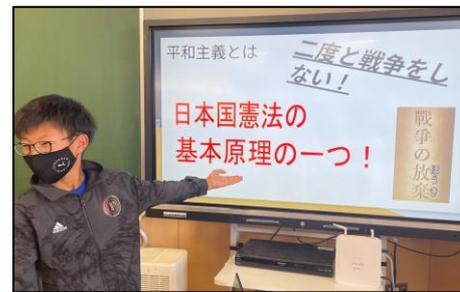


飛鳥・奈良 情報収集
長谷川菜々・9月1日（最終編集：18:55）
100点

- 自分の課題に対して、十分な情報収集をして自分なりにまとめてきましょう。
- 教科書・NHK for Schoolの動画クリップ・本を中心に情報収集しましょう。（インターネットは信用できるサイトなのかしっかり確認してください）
- 9月4日（月）まで

飛鳥・奈良 情報収集④
Google Jamboard

飛鳥・奈良 情報収集②
Google Jamboard



整理・分析したことを、グループごとにスライドにまとめ発表。各グループのプレゼンに対して、GoogleChatを活用し、意見交流やアドバイス等即時共有し、子供たち同士で学びが深まる学習環境を設定するようにしている。

個人でまとめた情報収集ノート

GoogleClassroomに学習方法の指示を掲載

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

仙台市立錦ヶ丘小学校（仙台市）

【取組内容④】 校内研修や校内研究におけるクラウドの活用

【概要】 日常的な端末活用が進むよう、意図的に活用を設定。人事異動による校内体制の変化への対応や職員間の情報共有も踏まえ、新年度の着任者を中心とした校内研修の実施。校内研究における授業検討や研修履歴の蓄積にクラウドを活用した。

実践例① 「児童目線の体験型操作研修」

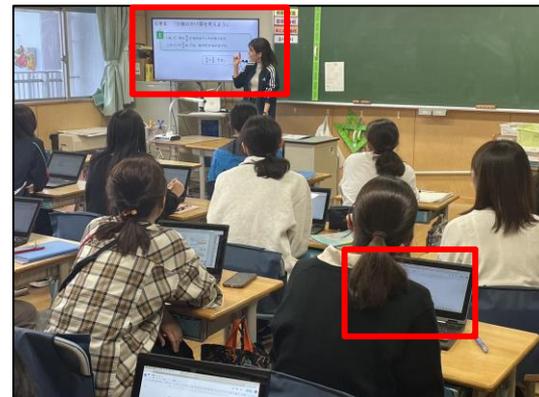


研究部の教員が講師となり、基本操作を実際に端末を操作しながら伝達したり、授業で活用したアプリケーションを児童になったつもりで体験したりするハンズオン校内研修を行った。



教師側の画面や操作方法だけではなく、児童側の画面の見え方や操作についても操作しながら理解を深め、授業での活用イメージを持つ。

実践例② 「授業検討の履歴を共有」



校内研究の際も、授業検討や事後検討でクラウドを活用。全職員の意見が集約しやすく、協働編集しながら、議論を深めることができた。

また、蓄積した記録を基に、授業改善の視点の明確化や、授業改善の変容の見取りに役立っている。



	D	E	F	G	H
期別	観点	自己評価	観点	自己評価	
第1期	多忙なこと	授業準備に時間を取られ、授業中に児童の様子を確認しにくい状態であった。	多忙なこと	授業準備に時間を取られ、授業中に児童の様子を確認しにくい状態であった。	授業準備に時間を取られ、授業中に児童の様子を確認しにくい状態であった。
第2期	経験したこと	授業準備に時間を取られ、授業中に児童の様子を確認しにくい状態であった。	経験したこと	授業準備に時間を取られ、授業中に児童の様子を確認しにくい状態であった。	授業準備に時間を取られ、授業中に児童の様子を確認しにくい状態であった。
第3期	感じたこと	授業準備に時間を取られ、授業中に児童の様子を確認しにくい状態であった。	感じたこと	授業準備に時間を取られ、授業中に児童の様子を確認しにくい状態であった。	授業準備に時間を取られ、授業中に児童の様子を確認しにくい状態であった。

GoogleClassroomやスプレッドシートを使用し、学習指導案や校内研修における資料などを共有・蓄積。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

仙台市立錦ヶ丘小学校（仙台市）

【取組内容④】 「働き方改革に寄与するクラウド活用」 チャットを活用した職員室と教室の連絡

【概要】大規模校における教職員間の確実な連絡体制を確保するため、GoogleChatを連絡掲示板として活用。朝の出欠連絡確認業務においては、教室と職員室の行き来を減らすことにつながった。また、全職員との情報共有がスムーズに行えるようになった。

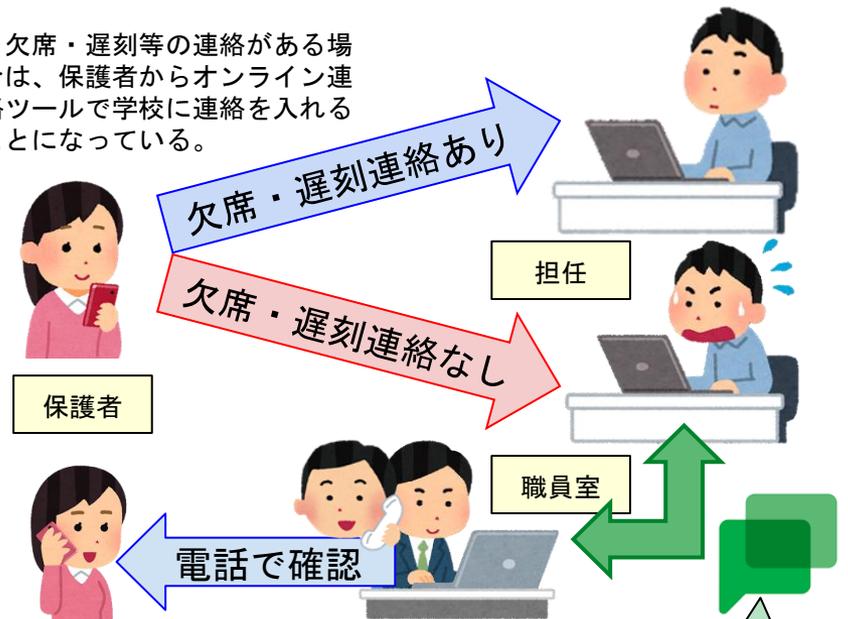
実践例①「校内連絡掲示板にGoogleChatを活用」



Google Chatを開くことを習慣化するため、職員室内にメッセージを掲示。

実践例②「出欠席連絡の確認」

欠席・遅刻等の連絡がある場合は、保護者からオンライン連絡ツールで学校に連絡を入れることになっている。



もしも保護者からオンライン連絡が無かった場合、Google Chatで職員室に連絡。職員室から保護者に電話連絡を行う。

「#働き方改革の観点」

CHAT利用をさらに進めます

→ **SOSを発信しやすい職場環境の構築**

- 情報をすぐに共有できる（自分だけが知っている時間を最小限にする）
- 情報をどこからでも共有できる（子どもたちから目を離す必要が無い）
- 情報を一度に共有できる（たくさんの人に共有することでヒヤリハットを減らす）

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

仙台市立錦ヶ丘小学校（仙台市）

【取組内容⑤】 「保護者・地域に向けた多様な情報発信」

【概要】 学校の取組の紹介や家庭や地域との情報共有のため、学校webページを活用し、学習の様子等のオンデマンド配信を積極的に行った。また、保護者・地域に向けた対面によるGIGAスクール構想に関する勉強会の実施やライブストリーミング配信等による、情報発信の機会を設定し、保護者や地域のGIGAスクール構想に対する理解を深めた。



勉強会の様子



錦ヶ丘小学校の授業の様子を視聴し、子供たちが端末をどのように使っているのかを知りました



学校webページや動画共有サービスなどwebを使って、学校の情報発信を継続して行ってきた。

しかし、学校運営協議会の中で、「ブログを読んだり、編集された動画を見るだけでは、GIGAスクール構想による学校の変化がよく分からない。」という意見があり直接保護者がGIGAスクールについて学ぶことのできる勉強会を実施した。

低学年の親子が多く、クラウドに保存してある子供たちの学習履歴を見て、自分たちの時代との違いに驚愕

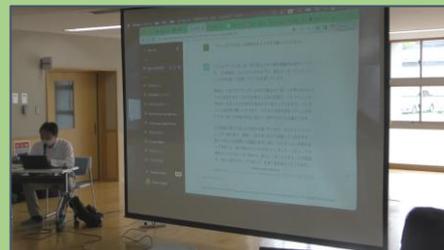


稲垣教授のファシリテートのもと、アプリを使った共同編集でGIGAの学びを疑似体験

約年度大特研につき、今年もありません！
GIGA
スクール勉強会
season 2
 のお知らせ

※日時 7月1日(土) 10:00-11:30
 (受付 9:40-9:55)
 ※参加人数 親子20組
 ※場所 錦ヶ丘小学校
 (祝日延長保育ありお入りください)
 ※持ち物 学校で持っているパソコン
 上履き

講師：東北学院大学 稲垣 忠 教授
 対象：親子20組
 会場：錦ヶ丘小学校



ChatGPTの長所短所について、実際の挙動を見て学習

保護者向け参加型のGIGAスクール勉強会を実施！